

2014年度北海学園大学大学院経営学研究科修士課程(第2期)入学試験

専門科目 (共通専門科目) <組織経営分野>

以下の3つの問題うち、いずれか1つについて解答してください。なお、選択した問題番号を最初に明記すること。

(※論文や著作など具体的な研究を挙げる際には、「Itami(2007)」のように表記してください。)

- ① 【コンティンジェンシー理論】ポスト・コンティンジェンシー理論ないし、ネオ・コンティンジェンシー理論と呼ばれる一連の議論は、いわゆる環境決定論的なコンティンジェンシー理論に対してどのような批判を行い、どんな新しい主張を展開したでしょうか。具体的な研究(著作・論文)を挙げながら説明してください。
- ② 【組織学習】なぜ、経営学や組織理論において学習に関する議論が必要とされたのでしょうか。その理論的な必然性について代表的な研究(著作・論文)を具体的に挙げながら説明してください。
- ③ 【能率と有効性】組織の能率と有効性について、両者がどのようなものかを説明した上で、なぜこれらの概念が組織マネジメントにおいて重視されなければならないかについて論述してください。

2014年度北海学園大学大学院経営学研究科修士課程(第2期)入学試験

専門科目 (共通専門科目) <組織心理分野>

問1. ストレス低減を図るために、個人が利用可能な方法にはどのようなものがあるだろうか。その解説をすること。その際に、以下の用語を2つ以上、使用すること。

≪用語≫問題焦点型対処行動、情緒焦点型対処行動、評価焦点型対処行動、突き放した関心

問2. ストレスを低減させ、回復させるためには、組織による介入も必要だとされる。どのような介入方法が有効だろうか？また、その際に留意すべき点は何であろうか？この2点について述べること。

問3. 以下の用語を説明すること。

(A) 一般適応症候群、(B) ストレス反応、(C) ストレッサ

2014年度北海学園大学大学院経営学研究科修士課程(第2期)入学試験

専門科目 (指導希望教授担当科目) <経営学原理>

〔問題〕

経営学とはどのような学問であるかについて、①、②どちらかの方法で説明して下さい。

① 経営学は、いつ、どのような経緯で成立した学問であるかに注目する。

(説明には、必ず経営学の源流、成立当時の社会的ニーズに言及すること。)

② 経営学は、どのような特徴を持った学問であるかに注目する。

(説明には、必ず類似の研究対象を扱う他の学問との違いに言及すること。)

2014年度北海学園大学大学院経営学研究科修士課程(第2期)入学試験

専門科目 (指導希望教授担当科目) <経営組織論>

2題を選択してください。

1. 其々説明してください。1) ライン組織、2) 事業部制組織、3) チーム(組織)
2. 組織を詳しく定義してください。
3. 動機づけの内容理論にはどのようなものがあるか詳しく説明してください。

2014年度北海学園大学大学院経営学研究科修士課程(第2期)入学試験

専門科目 (指導希望教授担当科目) <企業行動論>

次の4つの問題から、2問を選び説明しなさい。

問1 日本企業の製品差別化戦略とくにビジネスシステム（ビジネスモデル）の差別化について、説明しなさい。

問2 日本の製造業の国際化戦略について、アジアとの関わりをふまえて、説明しなさい。

問3 日本における、労働力人口、就業者、雇用者について、意味を説明するとともに、最近の推移を説明しなさい。

問4 日本企業における昇進・昇格の特徴を、次の用語を使いながら、説明しなさい。

(職能資格制度、キャリア・トリー、能力開発、キャリア形成)

2014年度北海学園大学大学院経営学研究科修士課程(第2期)入学試験

専門科目（指導希望教授担当科目） <組織心理学>

バーンアウトの定義を整理したうえで、そのリスクを高めると考えられる環境要因を列挙し、バーンアウトとの関連性について述べなさい。